

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ハミング ことばとからだところの教室 (重心)	公表日 2026年 2月 27日
-------------	-------------------------	-------------------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	音楽活動やハンモック、トランポリンなど利用児が多くても、少ない人数で楽しめるようにしている。同時に順番を待つことにもつなげている。	法令順守は、できているが、送迎等で瞬間的に人数が少なくなることもあるため、活動内容などの提供の工夫を行う必要がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	他害がある子と乳幼児（独歩や移動が難しい児）を同じ部屋にならないように分けている。交流の場合は支援員を増やし対応している。必要な場面（発作等）での専用の個室はないが、パーテーションやカーテンなどを使用する、他の利用児を移動してもらいなどの工夫を行うこと、部屋の一部を静養室とすることで対応している。	今後利用人数が増えることで、複数人が発作や落ち着かないといった内容で複数の静養室が必要になると思われる場合は、部屋の使い方やレイアウトを変更する必要がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1		現状、外部調査は実施していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0		
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	0	外出活動や制作活動といった分野に分けて打ち合わせを行い、活動の企画を行っている。	活動の年間計画・月間・週間プログラムを作成し、明確にしていく。

提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2	自分から毎日聞くようにしている。 職員間でのノートでの情報共有と園と共同での連絡帳の確認を行っている。 毎日の行動予定表の作成をして誰が誰を担当するかを決めている。	リハ職との共有を積極的に行っていく。 母とリハ職、他訪問リハ職との情報交換ノートを福祉職にも参画し情報共有を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	3		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	園での取り組みについて紙面で取組結果をもらったり、園の公開保育に参加したりしている。 医療面については必要な時に医療機関に確認を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	併行通園のため、他の園と共有書式の連絡ノートがあり、（保護者、園、児童発達支援事業所）毎日、連絡帳を確認することで情報が共有される状況になっている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	市役所、園や児童発達支援と連携をとり就学に向けて、見学や書類のやりとり等で1年かけて情報共有する機会を各自治体と連携しながら行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	併行通園をしているため、園との連携が常にできるような体制を構築している。日頃から地域の中（保育園）で交流を行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	連絡帳経由や直接送迎時に状況を伝えあうことで、困り感の共有や、課題についてすり合わせをしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	個別支援計画の更新に合わせて、現在の状況、悩みについてなどの聞き取りを行う面談を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	2	法人全体の取り組みとして「けやき祭り」を開催しており、その場で保護者間、兄弟姉妹間で交流を持てるようにしている。	保護者が就労で忙しいこと、利用児の障害の程度の違いもあり、実施できていない。今後、個別で確認を行い、必要があれば、放デイの利用児の保護者台同で実施も考えて行く。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	毎月の通信でその月に行った活動や日常の様子、機能訓練として頑張ったことなどを伝えるようにしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	通信の内容では写真を多く使うことで、文字だけでなく実際に利用児がどんな表情をしているか、どんなことを行っていたのかができるだけ伝わりやすいようにしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1		併設されている生活介護の利用者の性質上、感染や環境調整のリスクが同時に発生するため、積極的に地域の方を正体はできていない。併設の保育園の児と交流する等の小さな部分から事業所を知ってもらえるようにする。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		家族への周知があまりできていない。契約時には説明はしているが、通信を通じて、情報の発信を積極的にしていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	契約時に面談を行い、アセスメントシートに記入している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	法人内の事業所が昼食を作っているため、食物アレルギーについては除去を行っている。対応しきれないものについては保護者に用意してもらえるように伝えている。調理活動を行うときもアセスメントを確認したうえで、家族にも確認を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		不十分な部分がある。その都度、子どもの発達に応じた安全対策や危機管理に対する職員の研修を増やしていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	正職員での活動にはなるが、5S改善活動を通じて安全や支援に関する改善活動を毎月行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハミング ことばとからだところの教室(重症心身障害児)		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日 ~ 2025年 12月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日 ~ 2025年 12月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者のひとりに対する職員の人数が多く、個別の対応がしやすい。	同一の建物で行っている生活介護、放課後等デイサービスの利用者、職員と関わりを持つことで、できるだけ多くの人と関わったり、支援を受けたりできるようにしている。	本人の好きな活動でまったりやすいため、経験の少ないことに挑戦、体験ができるようにしていく。
2	機能訓練担当の職員がいることで、より専門的な取り組みが行える。	機能訓練担当職員が行った取り組みについて、日常生活の中で取り組めることはその他の職員もできることは取り組んでいる。	研修やOJTを通じて機能訓練担当職員以外の職員ができることがより多くなり、専門的な関わりが増えていく。
3	児童発達支援以外のサービスも行っているため、長いスパンで利用を考えられる。	現在利用している人に、利用の状況や、これ過去利用した利用児の進路を伝えている。	利用児家族の要望を確認しつつ、受け入れ態勢をとっていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動がマンネリ化しやすい。	職員のイメージ力や企画力が低い。	ミーティングの中で案を出し合ったり、児の状況を知ったうえで、どのような取り組みが有効であるかを考えられるような研修や情報収集が必要である。 他事業所への見学の実施を行う。
2	情報の発信力が弱い。	月1回の事業所通信を発行しているが、そのなかで内容を伝えきれていない。	通信の様式の変更であったり、別の媒体を通じて情報を発信する。連絡ノートを使用してエピソードを保護者に伝わりやすくする。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ハミング こぼとからだとこころの教室(重心)

2026年 2月 27

公表日 日

利用児童数 2

回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	0	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	0	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	0	0		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	1	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	0	0	1		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	0	0	0		
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1	0	0	0			

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	1	0	0	0		